

（1）定期会合

会員相互の情報提供や意見交換を活発に行い、参加各社のビジネスに繋げる

➤ 自社紹介や意見交換・議論に十分な時間を割く

✓ **自社紹介**

新規加入会員による自社紹介や、各社での取り組みの紹介を通じ、会員同士の交流を図る。

✓ **話題提供や意見交換・議論**

昨今のビジネス課題を中心としたテーマ設定や、気象ビジネス関連の話題提供を元に、気象データの活用可能性や気象ビジネスの関わりなどについて意見交換・議論を行う。

➤ WG会合を定期的を開催する

✓ 約3か月に1回のペースで年に3～4回開催

（2）普及啓発

気象ビジネスの裾野を広げ、交流を促す活動に取り組む

➤ 気象データのビジネス活用セミナー

✓ 人材育成WGと共同企画し、気象データの活用事例を通じた普及啓発を促進する。

✓ 前年度に引き続きオンライン開催とし、全国からの参加を可能とする。

<次ページへつづく>

（2）普及啓発 <つづき>

- 気象データの利活用事例集の拡充
 - ✓ 課題や分析方法、効果に重点を置いたインタビュー形式の記事のコーナーを新設し、順次、WXBCホームページに掲載する。★WXBCホームページは、今年度末目標でリニューアル予定

- 法人会員のサービス紹介
 - ✓ 法人会員のサービス紹介
WXBCホームページ上に、法人会員が自社サービスを紹介するページを新設する。
自社サービスには、気象情報の提供や分析、気象データを活用したビジネスなどを含む。
閲覧者がサービス提供企業にコンタクトできる仕組みを用意し、ユーザ企業とのマッチングを促進する。
(一会員が複数のサービスを掲載可)

- 他機関との連携
 - ✓ 他機関主催イベントを活用した情報発信を行う。
 - ✓ 他機関との共催によるセミナー等イベントの開催も視野に入れる。